

# 東北巡拝の旅

皆さまの旅の楽しみが、そのままの復興に。  
それは菩薩行です。

1200年前、みちのくは磐梯山の麓に慧日寺を創建した徳一菩薩は興福寺の僧侶です。福島復興の応援のために、徳一菩薩ゆかりの寺々と名所を訪ね、東日本大震災犠牲者慰霊法要を行います。ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。



①JR東京駅 出発の場合 旅行代金 **58,000円**

②JR仙台駅 発着の場合 旅行代金 **48,000円**

- 最少催行人員:16名(募集人員24名) ●添乗員:JR仙台駅から、最終日のJR勿来駅まで同行します。
- お一人様部屋追加料金10,000円 ※お一人様部屋を希望する場合の追加料金(部屋数の関係でご希望に添えない場合がございます)
- 詳細は出発の7日前までに発送する最終確定日程表でご確認下さい。

## 行程表

## 食事

1日目 10月10日 (火)	はやぶさ7	JR東京駅	JR仙台駅	塩釜:志波彦神社・鹽竈神社	塩釜水産物仲卸市場(自由昼食及びお買い物)	朝 × 昼 × 夕 ○
	8:20発	9:50/10:10	10:45/11:30	11:45/13:00		
		塩釜:浦霞醸造元 見学	松島海岸:瑞巖寺	高速	相馬 ホテル飛天	
		13:10/14:10	14:40/16:00		〒976-0023 福島県相馬市和田中道104-3	
					17:20	

### 志波彦神社・鹽竈神社

[しわひこじんじや・しおがまじんじや]  
鹽竈神社は、古くから東北鎮護・陸奥の国一ノ宮として、庶民からあがめられていました。元々は鹽竈神社のみが鎮座していましたが、明治時代に志波彦神社が境内に遷座し、現在は「志波彦神社・鹽竈神社」となっています。2012年、本殿や拝殿、石鳥居などが国の重要文化財の指定を受けました。



### 浦霞醸造元

[うらかすみじょうぞうもと]  
「浦霞発、日本酒文化の発信」をテーマに、「地元でしか買えない、味わえない」という宮城県内限定の浦霞製品をはじめ、陶器やガラスの酒器などを展示・販売しています。また、地元塩釜で作られた「塩釜オリジナル」を発信する商品など、お酒や塩釜の様々な情報発信の場となっているのが本社に併設された「浦霞 酒ギャラリー」です。



### 瑞巖寺 [ずいがんじ]

828年に創建されたと伝わり、その後戦国時代を経て衰退した寺を伊達政宗が再建し、自らの菩提寺としました。随所に政宗の美意識を感じさせるつくりとなっています。国宝に指定されている「本堂」と「庫裡」。華やかな本堂襖絵は必見です。本堂前にある「臥龍梅」が春には美しい花を咲かせます。寺の台所である「庫裡」にも唐草などの彫刻が施され政宗のこだわりが表れています。



## 2日目

10月11日  
(水)

ホテル	震災遺構浪江町立請戸小学校	復興記念公園内:八幡神社・合祭殿	東日本大震災・原子力災害伝承館	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×
8:00発	9:00/10:00	10:10/10:40	10:50/11:50	
	いわきらみゆうにて昼食・お買い物	海雲山高蔵寺にて慰霊法要	JR勿来駅	
	13:10/14:20	14:30/15:30	16:10/16:37	
			JR東京駅	
			18:43	

### 震災遺構浪江町立請戸小学校

[しんさいいこう なみえちやうりつうけどしょうがっこう]  
浪江町立請戸小学校は、2011年3月11日、未だかつて経験したことのない大地震・大津波とその後の原発事故に見舞われ、甚大な被害を受けました。当時通っていた児童93名(うち1年生11名は帰宅していた)は、教職員の迅速な判断と児童の協力により、奇跡的に全員が無事避難することができました。地域のシンボルである請戸小学校を震災遺構として整備・保存し、防災について考えるきっかけとして、また、後世へ伝承していくための施設として、2021年10月24日から一般公開しています。



### 八幡神社・合祭殿 [はちまんじんじや・ごうさいてん]

東日本大震災に伴う原子力災害の影響により、帰還困難区域に鎮座し、立ち入り困難な神社、避難指示が解除されても氏子の帰還が進まない地区の神社、また津波により全壊、流失した神社など、本来の鎮座地においてお祭りを行うことが困難な状況にある神社が本県にはまだ数多く残されています。合祭殿は、未曾有の災禍からの再生と、神社信仰を次世代へ継承することを目的として、こうした神社を遠く離れた場所から参拝(遙拝)するための礼拝施設として八幡神社に併設されました。



### 東日本大震災・原子力災害伝承館

[ひがしにほんだいいんさいげんしりょくさいがいてんしやうかん]  
福島では、東日本大震災において、地震・津波の被害に加えて、原発事故による世界でも未曾有の複合災害を経験しました。事故直後の発電所の状況、長期かつ広域の住民避難、放射線による県民生活への影響など、原発事故に係る資料が多数展示されていることが当館の特徴です。



### 海雲山 高蔵寺

[かいうんざん こうぞうじ]  
大同2年(807年)、徳一菩薩により開かれ、以後観音霊場として栄えておりました。明治25年火災により本堂を焼失するが、焼失から100年目の平成2年に再建を決め、平成7年7月に本堂客殿が完成しました。観音堂は国宝白水阿弥陀堂を模した造りで、室内には千手観音像が祀られています。  
●福島八十八ヶ所 霊場 第十番札所  
●磐城三十三観音 第六番札所 高蔵観音



食事内容:朝食11回 昼食11回 夕食11回

※写真はすべてイメージです。